

光市立室積小学校 令和7年度 学校だより

令和7年6月13日

第6号



# ひとみ もゆる



室積小HP

## 学校での学びを自分たちの本物の力に！

6月4日(水)の放課後、地域の方から学校に嬉しいお電話がありました。「5、6年生の子どもたちが、自分たちから進んで、コミュニティセンター内にあるごみを拾ってくれていました。おかげでとてもきれいになりました。子どもたちの行動がとても嬉しかったです。」という内容でした。子どもたちの行動を地域の方々が喜んでくださったことを嬉しく思いました。

実は、この日5年生は道徳科の時間に、「地域のために自分たちにできること」について学習していました。その学習を早速自分たちで行動に移したのです。学校ではいろいろなことを考えたり、話し合ったり、学んだりします。でも、今回のように、学校を離れて、自分たちだけになった場面で学んだことを活用したり、行動に移したりできることが大切だと思います。この5、6年生の行動は、学校での学びが本物の力になった嬉しい出来事でした。これからも、本物の力をいろいろな場で発揮できる子どもに育てて欲しいと願っています。



また、今回、地域の皆さんに子どもたちの行動を認めていただいたことは、何よりも子どもたちの自信となり、次へのエネルギーとなりました。ありがとうございました。



校長 片山なるみ

### 光ひまわりプロジェクトに挑戦

### 言葉のビューティフルとは



光市では、「光ひまわりプロジェクト」が進められています。みんなできれいなひまわりを育てようという取組です。室積小学校も環境美化委員会を中心に、このプロジェクトに参加しています。もう大きくなっているひまわりもありますが、まだまだかわいいひまわりもあります。きれいに咲かせて皆さんに楽しんでもらえると嬉しいです。



6月2日(月)の全校朝会では、「室小ABCのB(ビューティフル)」について話をしました。室積小では、みんなの力で靴箱の靴や本箱の本などがいつもきちんと揃えられています。見える物や場所を美しくしていくことは取り組みやすいものです。そこで、見ることができない「言葉」のビューティフルについても考えてみようと思いを投げかけました。例えば、「ありがとう」という言葉はみんなの気持ちを温かくする美しい言葉だと紹介しました。

